

# デジタル式運行記録計の普及促進について

---

資料1

## 1. 「貸切バス事業者のデジタル式運行記録計導入ガイド」の作成

- デジタル式運行記録計の積極的な導入の後押しを目的
- ガイドの内容は、デジタル式運行記録計の特長、導入効果、活用事例等を記載

## 2. 導入ガイドの周知

- 各種セミナー、ホームページ上の公表等を通じて広く周知

## 3. 貸切バス事業者に対するデジタル式運行記録計の導入支援

- 平成22年度より、中小事業者を対象にデジタル式運行記録計の導入補助（導入費用の1 / 3、1事業者あたり上限80万円）を実施
- 導入支援の継続的な実施によるデジタル式運行記録計の普及促進

事業用自動車の運転者の健康や過労に起因する事故を防止するための取り組みの一環として、各種スクリーニング検査の受診、デジタル式運行記録計を活用した労務管理の手法や関係者の取り組みについて講演し、国の各種施策の中の1つとして「貸切バス事業者のデジタル式運行記録計導入ガイド」の概要について紹介。

## プロドライバーの健康管理・労務管理の向上による事故防止に関するセミナー

### 1. 開催日時・場所

日時:平成29年2月21日(火)13:00~16:00

場所:TKP新橋カンファレンスセンター ホール2A

### 2. プログラム

#### ○ 基調講演

- ・健康起因事故・過労運転起因事故を防ぐための労務管理について((公財)大原記念労働科学研究所 所長 酒井一博)

#### ○ 健康管理・労務管理の向上による事故防止に関する取り組みの紹介

- ・健康や過労に起因する事故の削減に向けた取り組みについて(国土交通省)
- ・スクリーニング検査の受診に関する取り組みについて(日本交通健康保険組合)
- ・デジタル式運行記録計を活用した健康管理・労務管理に関する取り組みについて(安全運行サポーター協議会)
- ・デジタル式運行記録計を活用した運行管理の活用事例(中日臨海バス(株))
- ・運転者の安全運転を促すテレマティクスを活用した保険サービス((一社)日本損害保険協会)

### 3. 参加者(合計:209名(当日参加者除く))

バス事業者:60名、トラック事業者:45名、ハイヤー・タクシー事業者:53名、報道関係者:9名、その他:42名